巻東中学校ＣＳ通信

令和８年８月２６日　第２号
新潟市巻東中学校
発行　巻東中ＣＳ事務局
http://www.makihigasi.city-niigata.ed.jp/

巻東中学校区　小中合同　学校運営協議会会議（CS）を開催

８月３日（金）に、第２回の学校運営協議会（ＣＳ）会議が、巻東中学校区小中合同で巻東中学校にて開催されました。

巻南小学校、漆山小学校、巻東中学校の各校から３１名の委員が参加しました。第１部の全体会では、各校の校長先生より各校の現状と課題について、報告があり、第２部のグループワークでは３つのテーマを設定し、６つのグループに分かれて活発な意見を交換し合いました。

【次　第】

○ 第１部（全体会）
１　開会のあいさつ
２　参加者紹介
３　各校の現状と課題についての報告（各校 校長）
○ 第２部（グループワーク）
○ 第３部（全体会）
５　グループ発表
６　お礼の言葉・閉会のあいさつ



【第１部（全体会）】

（１）各校の教育活動についての報告（各校 校長）

・巻東中学校　校長　澤田　栄三郎

「地域の愛着と誇りをもてる教育活動」について、総合的な学習の時間で特に地域学習に力をいれています。１年生は、「歴史体験学習、地域を知る学習」。２年生は、「職場体験験」。３年生は、「地域サークル活動」です。この活動は地域の団体・企業からご協力をいただき、３か月ともに活動し地域の魅力や地域を知り、地域に愛着を持てるような学習を進めていきます。

課題は、「地域サークル活動」が形骸化しないように、どう改善、更新していくか。防災教育で「HUG（避難所運営ゲーム）」を実施しているが、シュミレーション体験活動からどう実践力を高めていくか。いじめ、不登校を踏まえた地域との連携については、部活動に代わる放課後や週休日、長期休業中の居場所の確保や、活動づくりが課題になってくると考えております。

裏面に続く

・漆山小学校　校長　塚田　康一

全校縦割り班での活動を重視しています。

学力向上、特に算数に力をいれています。そのために授業づくり、授業の改革のために職員研修に力をいれています。

・巻南小学校　校長　山口　潤

来年度創立 50 周年を迎えるにあたり、実行委員会を立ち上げていきます。

いじめ、不登校対策として SSR を立ち上げたが、恒久的に運営していくためにどのような手段が必要なのかをしっかりと考えていきたい。

【第２部（グループワーク）】

（①A・B、②A・B、③A・B の６グループに分かれる）

・テーマ①『地域への愛着と誇りを育てる教育活動をどのように推進していくか』

②『地域と学校、学校間の連携を図りながら、防災教育、地域防災の活動を進めていくには、どのように取組んだらよいか』

③『いじめや不登校の現状を踏まえ、地域として、どのように関わっていくのがよいか』

【第３部（全体会）】

（１）協議内容の発表（代表グループ ①B、②A、③B）

①B　松野委員（巻東中）

地域の核となる場所づくりが大事。

まつりに参加する子どもが減少、地域に子どもの顔が見えない。

中学生、小学生の高学年が防災等の運営に参加してほしい

地域を知ることが大事。それを発信していく。巻東中学生は、区長へ要望を要請し、巻図書館、地区公民館などで要望を叶えた

地域には、世界レベルの企業もある。活躍している人もいるので、子どもたちにいろいろな大人に会わせたい。

②A　三浦教頭（漆山小学校）

横のつながりが減っている。しかし、災害のとき、一番必要。そのためには、近所の人と助け合う仕組みづくりが大事。

防災の地域行事では、おとなだけではなく、子どもも運営側として参加し、アイディアを取り入れる。漆山小学校4年生は防災教育のまとめを地域へ発信する予定。

③B　村山教頭（巻南小学校）

地域としても関わりたくても、個人情報の壁があり、情報が来ない。

いじめ案件は、特に顕著である。いじめ問題の未然防止として、地域が関われる部分は、子どもの居場所づくり。

保護者のサポートができる居場所づくりが必要。



（２）お礼の言葉・閉会の挨拶（漆山小学校長）